

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもと保健		科目コード	20Y590	担当者	齋藤 充子			
対象学生	幼児教育学科 2年生	学期区分	後期		単位数	2	担当形態	単独			
		授業区分	講義								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連 (大◎、中○、小△)					
子どもの健康・安全と子どもを取り巻く保育環境を理解し、健全な成長と発達を支援するための保健活動を学ぶ。さらに、保育者に必要とされる子どもの発育・健康にかかわる諸問題の追究及び起こりやすい疾病や事故の予防・対応について修得する。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育における保健的観点や踏まえた保育環境や援助について説明できる。										
2.	保育における衛生管理及び安全管理について具体的に説明できる。										
3.	子どもの体調不良への対処、また、緊急時の対応について述べるができる。										
4.	子どもの健康や安全を含めた保健活動に関して、その計画と評価について発表できる。						○	◎	○	◎	
5.	子どもの健康管理や安全管理について、家庭・地域・関連専門機関との連携の在り方及び組織的取り組みについて説明できる。					成績評価の方法と割合					
授業方法						平常点(授業内の発言内容・終了アンケート) (30%) 小レポート(2回) (20%) 定期試験 (50%)					
課題等への対応						授業外学修時間					
毎回、質疑応答の時間を設定し学生の疑問に答える。また、小レポートについては、その結果(各受講生の意見)をその後の授業で詳細に紹介及び講評する。						次回授業で扱う範囲のテキストの該当箇所を読み、授業で提示された重要事項を復習する(計1時間)。					
回数	授業計画					学習課題(予習・復習)					
第1回	子どもの保健とは ①意義と目的 ②子どもの健康概念 ③子どもの保健と統計					シラバスを読み、授業の概要を理解しておく。テキストの指定箇所を復習する。					
第2回	保健的観点からみた保育環境とその援助 ①子どもの健康支援と保育環境 ②保育現場における衛生管理					テキストを読み、わからない用語があれば調べておく。テキストの指定箇所を復習する。					
第3回	保育における健康・安全対策の実例(小レポート①)					乳幼児の事故に関連するニュースや記事を読む。小レポート①を作成する。					
第4回	子どもの発育・発達(1) 生理機能					子どもの生理機能についてテキストの該当箇所を読み、授業で提示された重要事項を復習する。					
第5回	子どもの発育・発達(2) 運動機能					子どもの運動機能についてテキストの該当箇所を読み、授業で提示された重要事項を復習する。					
第6回	子どもの身体発育と評価					子どもの成長発達を振り返り、授業で提示された重要事項を復習する。					
第7回	子どもの心の健康と支援					子どもの精神発達について理解し、授業で提示された重要事項を復習する。					
第8回	子どもの体調不良に対する保育(1) 子どもによくみられる内科的症状と応急処置					テキストを読み、わからない医学・看護用語があれば調べておく。授業内容を整理しまとめる。					
第9回	子どもの体調不良に対する保育(2) 子どもによくみられる外科的症状と応急処置					テキストを読み、わからない医学・看護用語があれば調べておく。授業内容を整理しまとめる。					
第10回	子どもの体調不良に対する保育(3) 心肺蘇生、アレルギー・アナフィラキシーショック					テキストを読み、わからない医学・看護用語があれば調べておく。授業内容を整理しまとめる。					
第11回	感染症対策: 保育現場での集団発生の予防(小レポート②)					テキストを読み、わからない用語があれば調べておく。小レポート②を作成する。					
第12回	個別配慮を要する子どもへの対応					テキストを読み、わからない用語があれば調べておく。テキストの指定箇所を復習する。					
第13回	障害のある子どもへの対応					テキストを読み、わからない用語があれば調べておく。テキストの指定箇所を復習する。					
第14回	保育現場における環境衛生・事故防止及び安全対策並びに危機管理—職員との連携・専門機関との連携—					テキストを読み、わからない用語があれば調べておく。連携について留意点をまとめておく。					
第15回	到達度の確認と試験対策					履修した内容を整理し理解する。理解不十分であった箇所を再度見直し復習する。					
試験	定期試験を実施する										
教科書	『保育者ためのわかりやすい子どもの保健』 飯島一誠 日本小児医学出版社				受講生へのメッセージ	近年、保育をめぐる社会状況の変化に伴い、1・2歳児を中心に保育所・園の利用者は増加しています。社会の期待に応えるためにも子どもの成長にかかわる保育士にとって、小児の発育・発達、病気に関する専門的知識が必要とされます。子どもの保健に携わる保育者としての役割を自覚し学びを深めていきましょう。					
参考書等	・『幼稚園・小学校・中学校・高等学校・義務教育学校・中等教育学校・特別支援学校の養護教諭をめざすあなたに』 齋藤充子 著 悠光堂 ・『子どもの病気の地図帳』 鴨下重彦・柳澤正義 著 講談社										